



10/2 シングルファミリー応援子ども食堂



10/2 北陸先端科学技術大学院大学 創立30周年記念式典



10/3 能美市消防団女性分団発足式



10/8 寺井高校生との男共共同参画学習会



10/13 生活応援弁当



10/16 ふるさとミュージアム内覧会



10/16 秋常14号線開通式



10/16 三道山子ども食堂



10/21 能美市商工会優良社員表彰式



10/23 KUTANism開催式典



10/25 市ボランティア連絡協議会子ども食堂発表



10/27 生活応援弁当



11/2 寺井中学校創立70周年記念式典



11/3 能美市表彰式



11/6 県日中友好協会創立70周年式典



11/6 シングルファミリー応援子ども食堂



11/10 生活応援弁当



11/15 市トランポリン大会



11/20 三道山子ども食堂 番匠副市長も参加



11/26 除雪機更新披露式



12/4 シングルファミリー応援子ども食堂



12/8 生活応援弁当



12/12 国際交流ひろば企画展

能美市議会議員 たなか 田中 さくじろう 策次郎

絆 きずな ～能美市政報告～



12月議会の報告 (p2・p3)

- コロナ禍における災害時の家族避難行動計画作成の推進を
- 町会・町内会の公民館へのコロナ感染症対策支援を
- コロナ感染症に悩む市民に対応する専用窓口の設置を
- 第2次能美市男女共同参画プラン推進について

感染症対策をしながら福祉授業・防災講演会などボランティア活動も再開しています！



11/13 浜小学校福祉体験授業



11/27 粟生小学校福祉体験授業



11/26&11/30 寺井小学校福祉体験授業



12/1 能美市婦人団体協議会リーダー研修 防災講演



研修部会の皆さん



12/6 能美市赤十字奉仕団チーム20 海外たすけあい募金活動

●コロナ禍における災害時の家族避難行動計画作成の推進を

本年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で様々な講座や講演会などが中止となっています。しかし、毎年のように繰り返し行わなければ身につかないのが防災意識や防災力です。

コロナ禍の中でも自然災害はいつ起こるか分かりません。新しい生活様式で新型コロナウイルス感染症と共に生活しなければならぬ環境が続くと考えられる今、家族単位での避難行動計画作成をこれまで以上に促す必要があると考える。
地震や台風、豪雨、洪水、豪雪など様々な災害時に自分達にどのようなリスクがあるのか、災害時に家族単位で取るべき避難行動を家族の中で話し合う必要がある。家族避難行動計画作成の推進について問う。

答 吉光 年治 総務部長

市民一人一人が、災害時の行動を事前に考え話し合い、その内容を避難行動計画として関係者や家族と共有しておくことは、災害時に自らの命を守るための行動に大変有効である。

今後の計画の中で、感染状況等を注視しながら地域や家族単位での避難行動計画作成をテーマとして、台風や大雨に関するマイ・タイムラインの作成の講座を、国土交通省の協力を頂き、楽しく、分かりやすく学ぶという内容で開催を検討している。

このような講座をはじめ、いろいろな形で家族の避難行動計画を推進していきたい。



●町会・町内会の公民館へのコロナ感染症対策支援を

新型コロナウイルス感染症がいまだに終息しない中、地域活動もこれまでどおりには開催できない状況である。感染症拡大防止のためには人が集まることは避けるべきと考える一方で地域のいきいきサロンなどでは高齢者の閉じ籠もり防止には必要な活動として行われています。高齢者の不活発は虚弱につながり、加えて地域の集まりが少なくなれば地域コミュニティの崩壊にもつながりかねない。公民館で活動を行おうとすれば、新たな新型コロナウイルス感染症対策が必要となり、町会・町内会にとっては大きな負担と考える。地域コミュニティの存続のためにも、市が公民館の使用実態に合わせて支援することが必要と考える。

新型コロナウイルス感染症対策として公民館施設整備の強化を進め、コロナ禍における公民館活動への支援を求める。

答 米脇 守 教育委員会管理局长

町会・町内会のコミュニティセンターや集会所など、いわゆる公民館につきましては、地域コミュニティの拠点となる極めて重要な施設であり、コロナ禍におけるウイズコロナの時代に今後の公民館の活用方法や感染防止対策をいかに施していくかが大きな課題となっている。

今定例会の補正予算で、自治公民館の施設整備に対する補助制度の拡充を図り、空気清浄機の購入費や自動水栓の設置費を新たに追加し、感染症対策補助として総額で500万円を計上した。

加えて、町会・町内会の活動支援策として、総会等の会議や行事で使用されるアクリル板や消毒ポンプスタンドの備品購入も、今後、補助メニューを作成し感染防止対策を支援したい。



●コロナ感染症に悩む市民に対応する専用窓口の設置を

国、県、市は新型コロナウイルス感染症支援策の様々な情報発信をしている。しかし情報量が多く、市民には理解が難しくなっている現状もある。各部署の中では支援策の理解がしっかりとできていくが、それらを統括する必要はないか。

今後、増えていくと考えられる相談者と、来年度も国・県・市の支援メニューが増えていく可能性に加えコロナ禍による家庭や学校や地域での市民生活の悩み、事業継続の不安などを一元化して受け入れ、対応できる窓口が必要ではないか。

新型コロナウイルス感染症に悩む市民に対応する専用窓口の設置を検討できないか。

答 吉光 年治 総務部長

市では、正確、迅速な情報提供を念頭に、感染が拡大し始めた2月末には、市のホームページに新型コロナウイルス感染症に関する情報を集約した特設サイトを設けるとともに、「広報のみ」をはじめ様々な媒体を通して新型コロナウイルス感染症対策の情報発信に努めている。

新型コロナウイルス感染症と共に生きていかなければならない新たな生活様式の中においては、これまで以上に様々な市民ニーズに的確かつ迅速に対応していかなければならないと考えている。

新型コロナウイルス感染症に悩む市民に対応する専用窓口の設置については、高い専門性を有するスタッフを多数配置する必要があり、また、1か所に相談者が集中することによる感染リスクのおそれやプライバシー保護の観点から、現時点では難しい。引き続き、市民の安全・安心を最優先に考え、「安全安心対策」「家計対策」「経済対策」の3本の柱を基に各種施策をしっかりと講じるとともに、市民目線で分かりやすい情報提供に努めていく。



●第2次能美市男女共同参画プラン推進について



現在の能美市の男女共同参画の統計的現状とアンケートによる市民の意識調査を行い、第1次プランを検証し、本年3月に第2次能美市男女共同参画プランが策定された。

基本理念は「能き美しき『のみ』を輝かせる」～男女が共に能力と個性を發揮できるまち～ というものです。

男女共同参画推進の担当課は地域振興課ですが、企業への働きかけは産業交流部、町会・町内会での役割は総務部、健康や子育ては健康福祉部、教育を通じた意識改革には教育委員会と、全庁体制での連携、協力が必要となります。

この第2次プランの中には、役割を明記するため、それぞれの具体的な施策の方向性と担当課の明記がされております。市民の男女共同参画意識の醸成を促すとともに、実効性のある取組の推進も必要であると考えている。

市長はどのような思いを込め第2次能美市男女共同参画プランを策定し、今後どのように実現のための取組を進めていくのか。

答 井出 敏朗 市長

全ての個人が互いにその人権を尊重し、喜びも責任も分かち合いつつ、個性と能力を十分に發揮できる男女共同参画の実現は、重要な課題であると認識をしている。

市としては、女性の視点をできるだけ取り入れるため、審議会などへの女性の推薦を心がけ、女性のご意見を積極的にいただけるよう、率先して取り組んでいる。

本年7月、SDGs未来都市に選定され、SDGsの持続可能な開発目標の一つに「ジェンダー平等を実現しよう」があります。男らしさ、女らしさの枠を超え、これからも市民一人一人が男女平等を実感できるよう、市民をはじめ、企業、団体の皆様のそれぞれの立場からのご協力をいただきながら、全庁挙げて男女共同参画の推進に取り組んでいく。



能美市長選挙及び能美市議会議員補欠選挙

告示日 令和3年1月24日(日曜日) 投票日時 令和3年1月31日(日曜日)

平成15年2月1日までに生まれた人で、令和2年10月23日以前に能美市に住民登録をし、引き続き選挙の投票日まで住所がある人が投票できます。選挙の投票日まで能美市から転出された人は投票できません。

3月議会一般質問は 3月16日(火)10時～と17日(水)13時30分～です

場所 能美市本庁舎 三階議場 事前申込みは要りません。(コロナ感染症の対応にご配慮願います)

ご意見・ご相談等がございましたら下記まで☆

連絡先記載の無いご意見は返信が出来ませんので、ご返答希望の方は連絡先をお忘れのないように願います。

能美市議会議員 田中 策次郎

〒923-1124 石川県能美市三道山町チ 16-2
TEL 0761-58-5037 FAX 0761-58-5209
Mail kizuna@3926jp.net http://3926jp.net

